

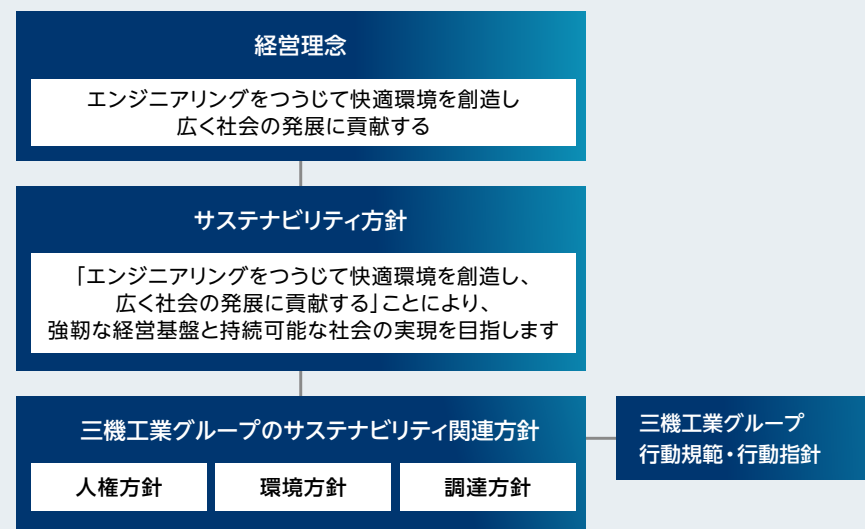
# サステナビリティマネジメント



## 三機工業グループのサステナビリティ経営

当社グループは、サステナビリティ経営を推進し、環境・社会への貢献と収益確保を両立させて、長期にわたり持続可能な発展を続けていくため、経営理念をもとにサステナビリティ方針を定めています。

サステナビリティ経営に取り組むにあたっては、5つのマテリアリティを特定し、中期経営計画“Century 2025”Phase3にて、各施策を立案し、取り組みを進めています。今後もステークホルダーからの要請・期待などを受け止めた上で企業活動に反映させ、社会課題の解決に技術で貢献していきます。



## 推進体制

当社グループは、気候変動をはじめとするサステナビリティ課題全般について対応するため、サステナビリティ委員会を設置しています。

サステナビリティ委員会では、サステナビリティ経営を実現するための重要課題・施策を審議・決定しています。委員会の審議・決定内容については、経営会議、取締役会に報告され、監督を受けています。また、事業・経営戦略への影響が大きい課題については、重要性に応じて経営会議、取締役会へ付議され、決定・承認されます。

委員会の下部組織として設けた各部門の実務担当者からなるサステナビリティ推進会議では、委員会の審議・決定事項のグループ全体への周知や具体的なサステナビリティ推進活動の討議・推進や進捗確認を行っています。本推進体制に従い、サプライチェーンを含めたあらゆる事業活動の場においてサステナビリティ課題に対応しています。

**P. 24-25**  
三機工業グループのマテリアリティ

**ステークホルダー・エンゲージメント**  
<https://www.sanki.co.jp/csr/governance/engagement/>

**サステナビリティ委員会**

**構成**  
委員長：代表取締役社長  
メンバー：常勤取締役および委員長が指名する者

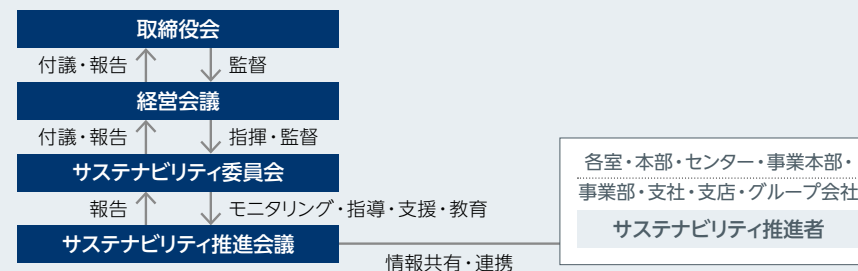
**開催頻度**  
2023年度の開催回数：2回

**サステナビリティ推進会議**

**構成**  
メンバー：各部門サステナビリティ推進者

**開催頻度**  
2023年度の開催回数：2回

## サステナビリティ推進体制図



## サステナビリティ委員会 審議された主な議題 (2023年度)

- ① カーボンニュートラルの見通しと脱炭素施策の推進
- ② 「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度の拡充
- ③ 人的資本関連施策の情報開示
- ④ マテリアリティの見直し

## 社内への意識浸透

サステナビリティ経営のさらなる推進に向け、従業員一人ひとりの意識醸成に取り組んでいます。

従業員へのマテリアリティの浸透と意見収集を目的に、当社グループの全従業員を対象としたマテリアリティに関するアンケートを実施しています。アンケートに寄せられた意見を参考に、マテリアリティに基づく施策の見直しや事業活動への反映を検討するとともに、マテリアリティのさらなる浸透に努めています。

また、社内向け情報発信として、社内報や社内サイトにおいて、当社のサステナビリティに関する取り組み内容や講習映像などを配信するほか、エネルギー消費量やCO<sub>2</sub>排出量の見える化などに取り組んでいます。

## リスク管理

当社グループは、グループ全体の正常な事業運営を阻むリスクを統合的に把握し、リスクの顕在化を未然に防止するとともに、顕在化した場合の損失を極小化することを目的に、「リスク管理委員会」を開催しています。委員会において当社グループの事業にかかわるリスクを洗い出し分類した上で、所管する分科会、コントロールの内容などを定め、影響度や頻度等を可能な限り計量化して評価し、それらの優先順位や対応方針を策定・実施し、定期的に見直しを行っています。

策定された施策に関しては、重要性に応じてサステナビリティ委員会、経営会議、取締役会に上程し、決定・承認され、グループ全部門へ展開されます。また、中期経営計画の施策として取り上げられたものは、各部門の執行計画に組み込み、進捗を管理しています。

## 全社マテリアリティ アンケート結果

実施時期：2023年4月・5月  
対 象：当社グループの全役員・従業員

各マテリアリティについて、「日頃の業務と関連していて、既に取り組んでいる」と回答した割合

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 脱炭素社会への貢献            | 49% |
| 働く仲間の幸福の追求           | 71% |
| エンジニアリングを活かした快適環境の構築 | 42% |
| 新たな社会価値の創造           | 44% |
| 安定した収益と経営基盤の強化       | 70% |

**P. 98** リスクマネジメント